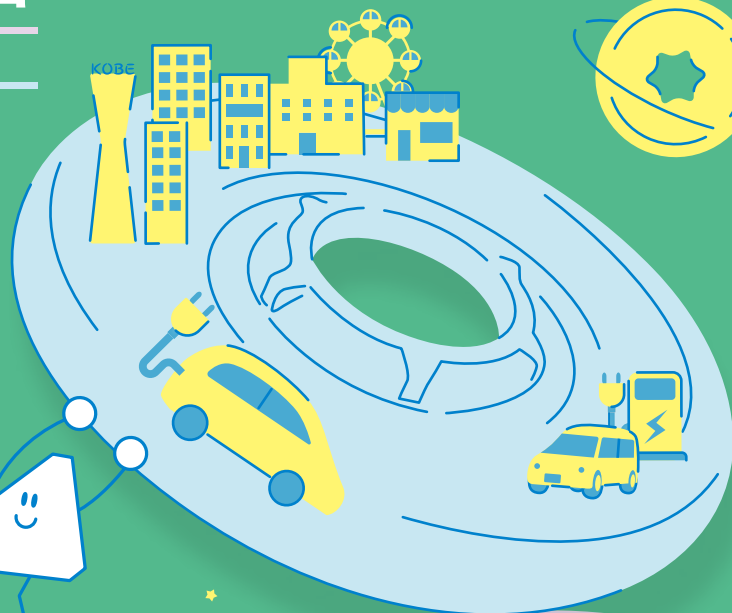


第38期 中間株主通信

2020年4月1日～2020年9月30日



<証券コード7208>

平素より格別のご高配を承り厚く御礼申し上げます。

2020年度は、年度初めより新型コロナウイルス感染症の影響による急激な減産の影響を受けました。現在は、国内外全拠点で回復基調にあり、今後の商品構成などを想定した生産体制の整備改革を進めているところです。

新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による、自動車業界の需要低迷が大きく影響し、当社グループの上期売上高は2,843百万円（対前年同四半期比30.9%減少）となりました。利益面では、営業損失517百万円、経常損失529百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は233百万円となりました。

地域別では、日本は売上高1,934百万円（対前年同四半期比28.5%減少）、営業損失476百万円となりました。東南アジアは売上高650百万円（対前年同四半期比39.7%減少）、営業損失68百万円、中国は売上高324百万円（対前年同四半期比28.6%減少）、営業利益17百万円（対前年同四半期比73.3%減少）となりました。

我々の事業環境は、先行きが不透明な世界経済や生活様式の変化などにより依然厳しい状況ですが、回復の早かった中国市場や春に底を打った日本や東南アジア市場を中心に事業収益の早期回復はもちろん、“明日(みらい)の話ができる会社になろう”を実現するため、次代に向けた商品開発を強力に推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社の経営に対する深いご理解とより一層のご支援を賜われますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

金光俊明

配当

第38期中間配当は13円00銭 第38期年間配当は26円50銭を予定

当社グループの通期業績予想は、売上高6,400百万円、営業損失740百万円、経常損失750百万円、親会社株主に帰属する当期純損失300百万円を見込んでいます。

2020年6月 株式会社津村製作所を子会社としました

株式会社津村製作所は、紙管口金、道路安全資材関連部品、パイプ椅子部品およびその他金属プレス加工品を製造販売しております。主力製品である紙管口金は、市況によって販売数が大きく変化しないという特長があります。

設備としては、電気自動車部品などを製造する際に必要な大型プレス、順送プレスを保有しており、株式会社津村製作所と当社でプレス技術の融合を行うことで、プレス事業の拡大を目指してまいります。

※紙管口金…新聞紙、上質紙などの製紙を巻き取る製紙用紙管の端面に装着される部材です。口金を使用することで端面を強化することができ、安全に製紙を巻き取ることができます。

【株式会社津村製作所概要】

所在地：大阪府大阪市平野区加美東
5丁目6番25号
設立：1948年5月11日
資本金：36百万円
売上高：751百万円(2020年4月期)



紙管口金

6月 新型コロナウイルス対策支援として長崎県へ寄付を実施しました

新型コロナウイルス感染症対策として、2020年6月9日に長崎県へ寄付しました。今後も社会貢献活動に取り組んでまいります。



長崎県庁にて贈呈の様子

7月 ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金へ寄付しました

兵庫県内の医療従事者を支えるための「ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金～新型コロナウイルスと闘う人たち応援プロジェクト～」に賛同し、寄付を行いました。

ひょうご新型コロナウイルス支援基金URL: <https://hyogo-kikin.jp/#aim>



【ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金概要】

創設：2020年4月27日
支援金の使途：医療資材、飲食の確保
宿泊施設等の活用
心と身体のケア

7月 加西第4工場の地鎮祭を執り行いました

2020年7月15日 加西第4工場の地鎮祭を執り行い、工事の無事を祈願しました。

竣工予定：2020年12月下旬

建設目的：加西第4工場には松本精工株式会社(子会社)が入居し、切削(仕上げ)工程を行います。

当社と子会社間の輸送工数の削減など総合的な生産性向上を図るとともに、変速機部品や電気自動車(EV)部品の増産を目指します。



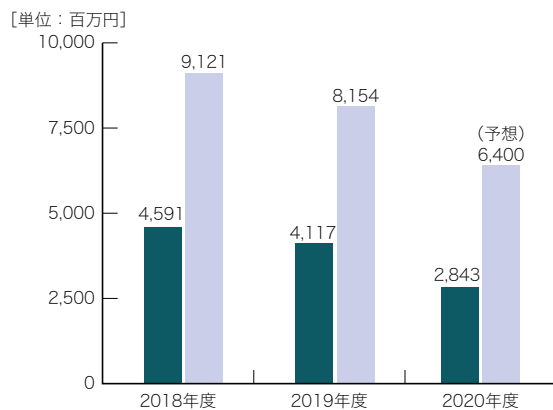
地鎮祭の様子

財務ハイライト

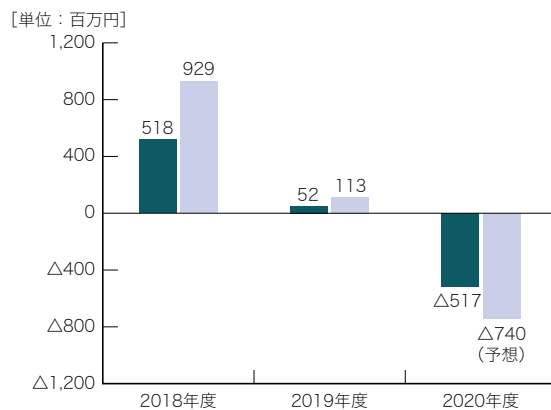
連結業績の推移

■ 第2四半期 ■ 通期

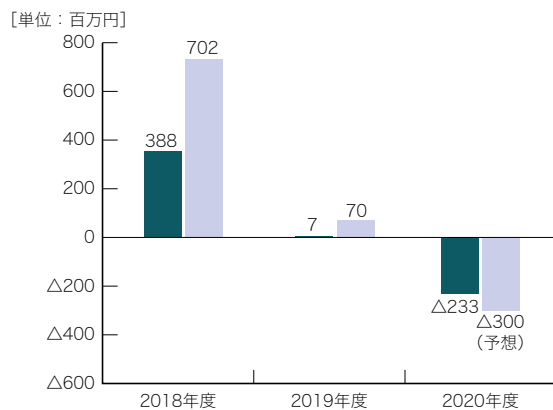
売上高



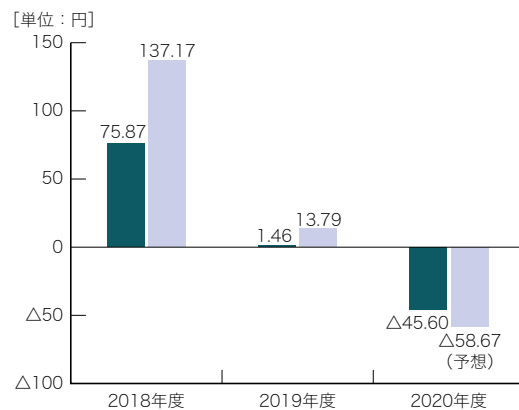
営業利益又は営業損失 (△)



親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益 又は親会社株主に帰属する当期（四半期）純損失 (△)



1株当たり当期（四半期）純利益 又は1株当たり当期（四半期）純損失 (△)



連結貸借対照表（要旨）

[単位：千円]

	前連結会計年度 (2020年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年 9月30日)
資産合計	13,096,578	13,313,491
負債合計	3,592,821	4,290,795
純資産合計	9,503,756	9,022,696
負債純資産合計	13,096,578	13,313,491

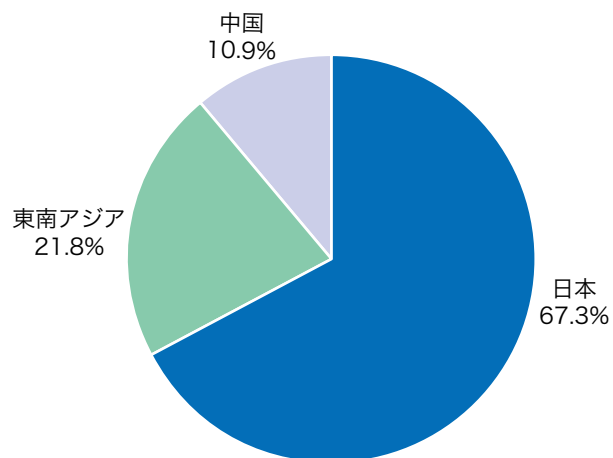
連結損益計算書（要旨）

[単位：千円]

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年 4月 1 日 至 2019年 9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1 日 至 2020年 9月30日)
売上高	4,117,448	2,843,586
売上総利益	860,029	218,314
営業利益又は 営業損失（△）	52,489	△517,237
営業外収益	22,535	24,809
営業外費用	27,932	37,065
経常利益又は 経常損失（△）	47,092	△529,493
特別利益	20,261	268,556
特別損失	26,562	7,149
税金等調整前四半期 純利益又は税金等 調整前四半期純損失 （△）	40,792	△268,086
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半 期純損失（△）	7,482	△233,211

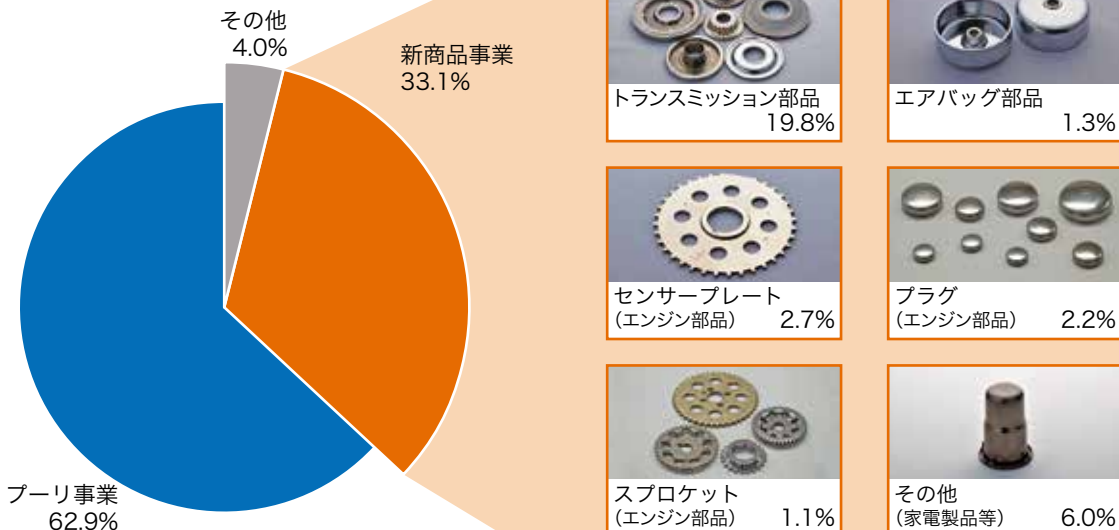
セグメント別売上高構成

連結売上高 2,843百万円



製品紹介

事業別売上高比率



プーリ事業



エンジンに取り付けられたプーリ

独自の鋼板立体造形技術による軽量プーリのアジアでの更なる拡販を目指します

売上の6割超を占める主力商品プーリは、自動車や農業機械等のエンジンの動力伝達に欠かせない機能部品です。独自の回転成形法とプレス増減肉工法を両輪とした「鋼板立体造形技術」により、一枚の薄鋼板から製品を一体成形する技術は、当社だけのOnly-One工法であり、軽量、高品質、低コストを実現しております。

タイKTTC（カネミツ・タイランド・テクニカル・センター）へのプーリ設計開発機能の移管により、アジアで更なるプーリ拡販に努めてまいります。

新商品事業

プーリで培ってきた鋼板立体造形技術を応用し次代商品の開発を進めてまいります

急速に進む自動車のHV・EV化に対応したプーリ以外の事業化を進めてまいります。また、これらの開発は、当社独自のバーチャル試作KAVS（Kanemitsu Analyze Virtual Simulation）により、大幅な開発期間の短縮と開発費用の抑制を実現しております。

株式の状況

発行可能株式総数	17,000,000株
発行済株式の総数	5,129,577株

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
金光 俊明	546,900株	10.70%
カネミツ従業員持株会	448,360株	8.77%
大阪中小企業投資育成株式会社	348,640株	6.82%
金光 正弘	204,000株	3.99%
山田 三郎	174,800株	3.42%
パンドー化学株式会社	141,220株	2.76%
明治安田生命保険相互会社	136,340株	2.67%
日本生命保険相互会社	136,340株	2.67%
金光 秀治	123,600株	2.42%
JFE商事株式会社	119,200株	2.33%

(注) 持株比率は自己株式数(16,250株)を控除して計算しております。

会社の概況

商号	株式会社カネミツ
本社所在地	兵庫県明石市大蔵本町20番26号
創業	1947年1月10日
設立	1950年12月27日
資本金	556,073,892円
代表者	代表取締役社長 金光俊明
従業員数	234名(単体) 620名(連結)
事業内容	自動車、農業機械用プーリおよび鋼板立体造形品の開発、製造および販売
事業所	工場：兵庫(三木、加西)、長崎 研究所：兵庫(加西)、長崎 営業所：埼玉、愛知
子会社	松本精工株式会社(兵庫) 株式会社津村製作所(大阪) KANEMITSU PULLEY CO., LTD. (タイ) 佛山金光汽车零部件有限公司(中国) PT. KANEMITSU SGS INDONESIA (インドネシア)
関連会社	JBM KANEMITSU PULLEYS PRIVATE LIMITED (インド)

当社ホームページにも
株主通信を掲載しております。
下記URLもしくはQRコードからご覧ください。
URL：<http://kanemitsu.co.jp/soukai/>



※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

役員の状況（2020年9月30日現在）

代表取締役社長	金光 俊明
取締役	大西 将隆
取締役	金光 秀治
取締役	藤井 直樹
取締役	竹治 康公*
取締役	林 隆一*
常勤監査役	高橋 康弘
監査役	上原 健嗣**
監査役	廣瀬 敬三**

*会社法第2条第15号に定める社外取締役を示しております。

**会社法第2条第16号に定める社外監査役を示しております。

証券コード 7208
証券取引所 東京証券取引所市場第二部
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会基準日 3月31日
剰余金の配当基準日 期末 3月31日
中間 9月30日

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
同 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL：0120-094-777（通話料無料）

公告方法 電子公告 当社ホームページ
(<http://kanemitsu.co.jp/ir/library/kokoku/>)
ただし、不測の事態により電子公告による公告が
できない場合は、日本経済新聞に掲載します。

単元株式数 100株

株主優待制度のご案内

当社では、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝し、当社株式の所有株式数および保有期間に応じて、下記のとおり株主優待制度を設けております。

株主優待制度の内容

- (1)対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。
- (2)株主優待の内容
以下の基準により、クオカードを贈呈いたします。

継続保有期間	優待内容
1年未満	クオカード500円分
1年以上(注)	クオカード1,000円分

(注)「継続保有期間1年以上」とは、毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に同一の株主番号で基準日を含めて3回以上連続して記載または記録されている株主様といたします。

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。